

## 取組の概要【1ページ以内】

本学では教育と研究の目的として「バランスのとれた教養豊かな高度職業人を養成すること」と「地域社会及び国際社会の発展に寄与すること」を掲げている。本取組は、「共に創り上げる力」の向上を目指す共創力教育の推進や学生の自主的活動支援による「人間力」の育成を行い、その上に効果的な専門知識の修得を促す専門科目パッケージなどを履修することで、就業力育成の充実を図り、もって本学が目的とする有為な人材を輩出しようとするものである。

本取組で掲げる「人・モノ・知の交流拠点での共創力教育」では、人・モノ・知の交流の結節点である「下関」で、「共に創り上げる力」の向上を図る。具体的には、就業力の基盤となる「協働」を可能とする「人間力」の育成を行うために、教養教育によって、人間、歴史、社会、文化、自然などに関わる多様な問題を広い視野から考え、問題解決の方向や方法を学びながら、社会人として幅広い教養と深い洞察力を養う。また、初年次教育としての意義をも併せ持つ「基礎演習」（1年春学期に全員受講）をはじめとする各種演習や共同自主研究などの少人数教育により、コミュニケーション能力の向上を図る。さらに、「インターンシップ」では、実際の組織のメンバーとなり、その組織の目標に向かって「共に創り上げる」体験を行い、「フィールドワーク」では地域と共に活動を行うことで、課題点や解決策を探る活動を行う。

これらの「共創力教育」と並んで、学生が将来進みたい道を意識しながら専門的知識を修得するために「就業力マイスター制」を構築する。

金融、生活・福祉、経営情報、公益法人などのマイスターパッケージ科目を履修し、さらに前述のインターンシップや後述の内定後教育（就業直前教育）科目を履修した学生に対して「就業力マイスター」の称号を授与する。

内定後教育（就業直前教育）は、初年次から4年次までの一貫したキャリア教育のうち、特に就職先が決まった後、その職業を意識した科目群の履修や資格取得を促すとともに、大学の専門科目等を履修するきっかけを与え、4年間しっかり学修できる環境を作るものである。

学生の自主的活動支援では、ボランティア、サークル活動、資格取得など就業力向上に関する学生の自主的な活動を支援する。

これらの取組を通じて、企業や卒業生、在学生に対し、継続的にアンケートを実施する。就業力向上や自分にあった職業選択に繋がる要因は何かを分析し、今後のカリキュラムやキャリア教育等に活用するとともに、新しい就業力を構築する「新・就業力」を開発し、その育成を図るとともに、広く提唱する。

